

## 中根小学校区タウンミーティング議事録

平成30年7月10日 10:00～12:00 庁舎4階第3・4会議室

- 1 市長挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 事業報告及び話し合い
  - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
  - ②風水害や土砂災害に備えて—自らの命、家族の命を守るために—
  - ③市民満足度調査結果
  - ④ブロック塀の安全点検

### 4 行政区の意見等話し合い

栄西行政区：意見は特になし。

猪子行政区：農道の砂利の敷設に関して対応いただき感謝する。国道から先、愛和病院に抜ける五差路がある。その先に農道や民家に抜ける細い道があり、道路工事を行っていただいた。サクライカツトシさんの家まで舗装していただいたが、20～30M先にオオハシさん宅がある。予算が余ったらあと50M程延伸してほしい。

建設部長：50M延伸については現地確認をさせていただき、予算を見ながら今年度施行できればと思う。時間をいただきたい。

むつみ行政区：むつみ行政区内には緑地公園が1箇所もない。かろうじてあるむつみ会館前の空地は高齢者がゲートボールに使用しているだけで、地域の子供も達安心して遊べる公園がない。毎回、継続要望として意見を出しているが、回答も従来通り。むつみ会館に隣接する土地の買いあげ等をして、公園を作って欲しい。回答にあった「柏田第一公園」とはどこか。

建設部長：(プロジェクター地図を使用し説明)

近隣の公園は「柏田第一公園」と「栄西街区公園」がある。

むつみ行政区：土地の問題等あるであろうが、むつみ会館に隣接する場所に公園をつくっていただけるよう継続してお願いする。また、29年度下期に集積所について意見した件で、今までは空地や駐車場に集積所を設置していたが、17カ所ある集積所で、家が建設されるため移動してほしいなどの要望があ

り、集積所を設置する場所がなくなっている。二池の反対の南側に 3M×1.2Mの集積所がある。二池のフェンス側に同じような集積所をつくってこないかという声が区民から出ている。新規に集積所を新設する場所がなくなってしまうことを、前区長の根本勝さんも懸念していた。してほしい。既存の集積所用地に家が建つと移動をしなければならない。

環境経済部長：ごみ集積所は行政区に管理をお願いしている。担当と相談のうえ協議を図っていききたい。担当から区長に連絡をさせる。

一厚東行政区：子ども会の会長から、サンキ近くの踏切において小学生が登校する際、父兄が見回り（立哨）を行っているが、交通量が多く、車優先となっている。専門的に従事している警察官などに指導していただくことはできないかとの相談を受けた。たまに教師などが来ているとのことであったが、市の対応をお聞かせ願いたい。行政区役員や子ども会で毎日対応はしている。

市民部長：交通量が多く、立哨に苦勞されている現実を把握している。警察は指導に行けない現状。それに対応して立哨方法の指導を教化員などに仰ぎたいと考えている。こちらの方で検討をさせていただきたい。区長へこちらから連絡をする。

一厚西行政区：6月30日、中根小学校区地区社協総務委員会の中で、会長から地区社協の事務所を、旧猪子公民館を利用するとの話があった。行政区としては、新区民会館が建設された際は、旧公民館を解体し愛和病院へつながる道路を敷設するとの認識でいた。平成27年6月21日、建設部から資料をもらい説明を受けたが、市の計画が変更になったのか。行政区一同、公民館を解体せず地区社協の事務所に利用にするとの話を聞き心配をしている。

建設部長：計画としては現在も整備する方向で進んでいる。現在、市道23号線（城中田宮線）の事業を進めており、工事終了次第当該道路の延伸工事に着手する予定。旧区民会館は、工事が実施されるまでの間、地区社協の事務所として利用するとのことである。

保健福祉部長：牛久市は8つの小学校区ごとに地区社協が立ち上がっており、3つの小学校区は活動拠点を設置されているが、中根小学校区に関しては固定的な地区社協の活動拠点がなく、設置できないかという声があった。中根小だけでなく、設置されていない5つの

小学校区からも活動拠点について相談を受けている。新たな地区社協の活動拠点が立ち上がるまでの間、また愛和病院へつながる道路延伸工事が実施されるまでの間、お借りできればという段階。ご協力の程よろしく願いたい。

下根行政区： 継続しての意見に対して、前回の回答と同じである。中根小の7の工事は随時実施できるようなものなので、少しずつでも実施していただきたい。側溝の土などは掃除してもらえたが、すぐに溜まってしまうの少しずつ掃除をしてほしい。大きい工事に関しては、予算の関係もあるであろうが、やる方向で考えてもらいたい。さくら公園の調整池ができてから、ガマの穂が増えてきている。秋口になると穂が飛び、民家の庭に入ってくる。洗濯物に付着し困っているのを撤去（処理）をお願いしたいと思いい見を出したが、「早急に処理することは難しい」との回答であった。放置しているとどんどん増えるので撤去をお願いしたい。回答になっていないので、もう少しはっきりとした回答がほしい。

建設部長： 6の意見について、2号線については道路用地を最大限活用し、できるだけ安全に通行できるよう改修するため、現在測量設計を実施している。設計が終了次第、今年度に工事も施行する予定でいる。

7の意見について、U字溝の土砂を撤去させていただいた。今後も状況を確認していく。全体的な話として、道路が狭く舗装が進んでいない状況は把握している。各々の路線で中を舗装してU字溝を設置するにしても、下根中学校下の通りから着手していかなければ全体的な整備は困難だと考えている。時間を要することをご理解いただきたい。さくら公園のガマの穂の処理について、大きな調整池となっており一気にというわけにはいかない。どういった対応ができるかに関しては、今年度すぐにとはいかないがある程度区分けをして実施していかなければならないかと思っている。ご相談をさせていただきたい。

大中行政区： 地域の方が問題に対して区長にどうなったかを聞かれる。区長は代弁して伝える義務があるので継続した意見を出させていただいた。今回、新規に提案したのは、7区画のうち5軒が建築され、特に子供やひたち野うしく駅を通勤に利用している人など、地図部分の道を利用する人が増えた。当該道路には街灯が一つもない。防犯灯を設置してほしい。5軒とも行政区に加入したので、住民とも協議していきたい。8月までに具体的な設置場所などを協議したい。

市民部長：防犯灯設置の要望に関しては、行政区に対して要望書の提出をお願いしている。優先順位などあるが、なるべく要望に応えられるようにしてきたと考えている。ただ当該道路のように電柱が無い場所に防犯灯を設置するには、東電から電気を供給していただくのに時間がかかる場合がある。東電に対し、なるべく早く対応してもらうように要望を出す、なかなか対応してもらえないこともあるので、ご理解をいただきたい。

竹の台行政区：平成30年3月に道路雨水管工事を実施いただいて、集中豪雨時の氾濫がなくなった。深さ2M程の側溝をつくっていただき道路が川のようになることはなくなった。感謝申し上げます。

ひたち野行政区：常磐線沿線では、松戸市、柏市、我孫子市はポイ捨てに関する条例がある。利根川を越えると条例を制定していないように思う。条例制定について市として検討は始まっているのか、これからという状況なのか教えていただきたい。

環境経済部長：牛久市近隣では龍ヶ崎市、つくば市、守谷市は当該条例を制定していることを把握している。近隣に聞き取り調査をしたところ、区域を設定した場合、定期的にパトロールを実施しなければならないことや、経費も含めて、条例制定後の効果はあまり思わしくないとの回答であった。そのような聞き取りを受けて担当では検討をしている。指導員を何人配置するかの費用面が懸念される。ひたち野駅前を現場確認に行った際、そんなにポイ捨てがひどいという印象は受けなかった。さまざまなものを比較検討しながら考えているので、何もやってないというわけではない。

ひたち野行政区：防災無線について、スピーカーがどこにあるかの情報は発信しているのか。

市民部長：公表というかたちでホームページには掲載していないが、区長から要望があれば対応する。

ひたち野行政区：防災無線は停電時に使用できるのか。市全体に放送できるのか。

市民部長：停電時には使用できない。

ひたち野行政区：停電時はラジオなどの方が有効ということ。防災面から考えると、停電時はラジオやフリーダイヤルを使用するなど住民にそのような状況を知らしめ、使える方法を選択するよう働きかけるのが正しい対応と考える。

市民部長：国の方でアナログからデジタルへの切り替えを推奨している。平成34年9月をもってアナログ放送の防災無線は使用できなくなってしまう。市として防災無線を含めて情報伝達手段を駆使し、市民に伝達するかを検討しているところ。方針が決定したら周知したいと考えているのでご理解をいただきたい。

びゅうパークひたち野行政区：隣接する市街化調整区域に関しても今後対応を考えていくとの回答であったが、開発区域内の雨水排水について整備をきちんと実施してほしい。みどり野団地が雨水排水により道路が陥没するということがあった。また、学園西大通の先は将来的にはひたち野うしく駅東口、西口周辺の土地の利用について、民有地のため何も言えないが駐車場が多くある。市でいい活用方法はないか。例えば、企業誘致では固定資産税免除など、駅前の整備を市としてどういう考えているのか、誘致策は検討されているのか。

建設部長：ひたち野地区隣接の開発に伴う条件については、宅地供給ができるような検討をしている。事業が動き出せば下水等についての整備もきちんと実施していく。土浦稲敷線について、西大通が東の牛久境で止まっている。圏央道のインターに向けて稲敷線バイパスと土浦竜ヶ崎線バイパスを県の方で共有化するために整備を行っている。これが繋がればひたち野地区からも広い通りで直接行けるようになる。ひたち野地区に行くにも（時間や距離を）短縮して行ける。共有化に関してはまだ決定はしていない。また、ひたち野東西の駅前において、特に東口にコインパーキングが多く存在し、当初の計画のような企業誘致が進んでいない状況となっている。できるだけ駐車場ではなく、企業が入ってくれればと思うが、優遇税制の措置は考えていない。民有地である中で土地所有者が土地をどのように運用するか、こちらでも検討をしていく。

市長：ひたち野地区の開発について、開発時に下水など大きな問題が発生する可能性があるということで、県にも足を運び、地域の見直しを図ってもらえるよう一昨年から要望活動を行っている。このようなことは計画的に進めていかないと街の美観などがしっかりと整わない。県は牛久市に市街化区域が多く

あるとの意見であったが、自分はそう思わないので今月も県へ出向く予定である。宅建協会からも要望書をいただいて、良好な宅地を供給できないかとの話があった。ひたち野うしく地区をみると1キロ圏には住宅地や商業地があるが、この地域には市街化調整区域等が多くあり、牛久としてはもったいないと感じている。大中の奥に「ねむの木台地区」があるが、直線距離でひたち野うしく駅から1キロ圏内で行ける距離。ねむの木台はまだ下水も入っていないので、総合的な計画をすることによって、ひたち野うしく地区がよりよく結成されるのではないかと思っている。

防災無線について、アナログ化デジタル化あるが牛久市はどのようにしているか昨年から検討をしている。塔を建ててアナウンスするのは如何なものか、停電時には使用できない、防災無線の体を成すのか、何が一番良いのかを検討中。コスト的にも4～5億かかってしまうので、有効的でなおかつコストのかからない方法を検討している。例えばスマートフォンは、ほとんどの市民が持っており、地震や災害情報を即座に入手できる。しかし使えない人はどうすれば良いのか・・・高齢者には独自にラジオを設置するなど、安心・安全に暮らしていただけるにはどうしたら良いか、コスト的にも効果的な手段を、平成34年までに向けて対策をする。

ひたち野東行政区：各種の説明会や書類の申請に当たっては、平日限定ではなく、柔軟に土日などで対応できないか。本日、区長は平日のため仕事があり、私（副区長）が代理で出席をしている。私は研究職なので時間に融通が利くこともあり、本日は午前中休暇を取得し出席した。ひたち野東行政区は歴史が浅く、役員一同ほぼ働き世代。そういったところもご配慮いただきたい。数年までつくば市に在住していたことから、つくば市長のフェイスブックを定期的に拝見しているが、つくば市は週末にタウンミーティングを実施している。柔軟に対応していただければと思う。また、ホームページやコミュニティネットを使いやすくしてほしい。当行政区は柔軟に使いこなせてない。役員会でもホームページの話題が出ており、ホームページを使いこなせていないのでグーグル（フリー）のホームページを試行して充実しようとしている。せっかく受け皿があるのであれば、もう少し周知してほしい。

市民部長：役員さんも仕事を持っている中で、なかなか会議や各種申請に出づら  
いとこの件に関しては、ファックスやメール、土日に開庁している総合窓口課での対応でご理解をいただきたい。できる限りの対応をさせていただきますのでよろしくお願ひします。ホームページについては問い合わせをいただければ担当が出向くなど電話のやりとりをさせていただきます。

秘書課長：現在のタウンミーティングは、役員の皆様に市役所に出向いてもらっている形式を繰り返しているが、今年度から後期分については違う形式を考えようと検討中。決定次第、皆様にお伝えしてご協力を仰ぎたいと思う。